

注3

大学番号：私471

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

認可

甲南女子大学大学院 看護学研究科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 甲南女子学園  
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局名 看護リハビリテーション学部事務室

職名・氏名 事務長・吉井 貴子

電話番号 078-413-3722

(夜間) 078-413-3722

F A X 078-413-3742

e-mail nurspt@konan-wu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

|   |               |       |    |
|---|---------------|-------|----|
| 1 | 調査対象大学等の概要等   | ----- | 1  |
| 2 | 授業科目の概要       | ----- | 5  |
| 3 | 施設・設備の整備状況、経費 | ----- | 8  |
| 4 | 既設大学等の状況      | ----- | 9  |
| 5 | 教員組織の状況       | ----- | 11 |
| 6 | 留意事項に対する履行状況等 | ----- | 18 |
| 7 | その他全般的事項      | ----- | 19 |

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 甲南女子学園

## (2) 大学名

甲南女子大学大学院

## (3) 大学の位置

〒658-0001

兵庫県神戸市東灘区森北町6丁目2番23号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

| 職名               | 設置時                                    | 変更状況 | 備考 |
|------------------|--|------|----|
| 理事長              | ( マツシタ マサユキ )<br>松下 正幸<br>(平成13年7月10日) | -    | -  |
| 学長               | ( マツバヤシ ヤスアキ )<br>松林 靖明<br>(平成23年4月1日) | -    | -  |
| 看護学研究科<br>委員会委員長 | ( ツムラ チエコ )<br>津村 智恵子<br>(平成24年4月1日)   | -    | -  |
| -                | -                                      | -    | -  |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成 23 年度に報告済の内容 → (23)

平成 25 年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成23年度開設の博士後期課程の場合(平成25年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

| 調査対象研究科等の名称(学位)                      | 設置時の計画 |        |         | 備考                                    |
|--------------------------------------|--------|--------|---------|---------------------------------------|
|                                      | 修業年限   | 入学定員   | 収容定員    |                                       |
| 看護学研究科<br>看護学専攻(修士課程)<br><br>修士(看護学) | 2<br>年 | 5<br>人 | 10<br>人 | 基礎となる学部等<br><br>看護リハビリテーション学部<br>看護学科 |

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

| 区分             | 報告年度                  |                     | 平成24年度               |                     | 平成25年度 |        | 平均入学定員超過率 | 備考 |
|----------------|-----------------------|---------------------|----------------------|---------------------|--------|--------|-----------|----|
|                | 春季入学                  | その他の学期              | 春季入学                 | その他の学期              | 春季入学   | その他の学期 |           |    |
| A 入学定員         | 5<br>( - )<br>[ - ]   | -<br>( - )<br>[ - ] | 5<br>( - )<br>[ - ]  | -<br>( - )<br>[ - ] | 1.50倍  | -      |           |    |
| 志願者数           | 12<br>( 12 )<br>[ - ] | -<br>( - )<br>[ - ] | 11<br>( 9 )<br>[ - ] | -<br>( - )<br>[ - ] |        |        |           |    |
| 受験者数           | 12<br>( 12 )<br>[ - ] | -<br>( - )<br>[ - ] | 11<br>( 9 )<br>[ - ] | -<br>( - )<br>[ - ] |        |        |           |    |
| 合格者数           | 8<br>( 8 )<br>[ - ]   | -<br>( - )<br>[ - ] | 7<br>( 5 )<br>[ - ]  | -<br>( - )<br>[ - ] |        |        |           |    |
| B 入学者数         | 8<br>( 8 )<br>[ - ]   | -<br>( - )<br>[ - ] | 7<br>( 5 )<br>[ - ]  | -<br>( - )<br>[ - ] |        |        |           |    |
| 入学定員超過率<br>B/A | 1.60                  |                     | 1.40                 |                     |        |        |           |    |

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

| 学 年 | 平成24年度     |            | 平成25年度      |            | 備 考 |
|-----|------------|------------|-------------|------------|-----|
|     | 春季入学       | その他の学期     | 春季入学        | その他の学期     |     |
| 1年次 | [ - ]<br>8 | [ - ]<br>- | [ - ]<br>7  | [ - ]<br>- |     |
| 2年次 | [ ]        | [ ]        | [ - ]<br>8  | [ - ]<br>- |     |
| 3年次 | /          |            | [ ]         | [ ]        |     |
| 計   | [ - ]<br>8 |            | [ - ]<br>15 |            |     |

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象研究科の退学者等の状況

| 区分<br>対象年度    | 入学者数(b) | 退学者数(a) | 退学者数(内訳) |      |                 | 主な退学理由 | 入学者数に<br>対する退学者数<br>の割合<br>(a/b) |
|---------------|---------|---------|----------|------|-----------------|--------|----------------------------------|
|               |         |         | 退学した年度   | 退学者数 | 退学者数の<br>うち留学生数 |        |                                  |
|               |         |         |          |      |                 |        |                                  |
| 平成24年度<br>入学者 | 8人      | 0人      | 平成24年度   | 0人   | 0人              | -      | 0%                               |
|               |         |         | 平成25年度   | 0人   | 0人              | -      |                                  |
| 平成25年度<br>入学者 | 7人      | 0人      | 平成25年度   | 0人   | 0人              | -      | 0%                               |
| 合計            | 15人     | 0人      |          |      |                 |        | 0%                               |

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                   ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻>

### (1) 授業科目表

| 科目区分           | 授業科目の名称     | 配当年次                | 単位数 |    |    |   | 専任教員等の配置 |     |    |    |     | 備考  |   |
|----------------|-------------|---------------------|-----|----|----|---|----------|-----|----|----|-----|-----|---|
|                |             |                     | 必修  | 選択 | 自由 |   | 教授       | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手  |     |   |
| 共通基礎科目         | 実践哲学        | 1・2前                |     | 2  |    |   |          |     |    |    |     | 兼 1 | 通常開講 (25)<br>履修希望者がいなかったため(24)<br><br>担当予定者が教授就任を辞退し兼任講師として担当のため (25)<br><br>講師担当者が退職し兼任講師として担当のため (25) |
|                | 看護研究方法論     | 1前                  | 2   |    |    | 2 |          |     |    |    |     | 兼 3 |   |
|                | 看護倫理        | 1後                  | 2   |    |    |   | 2        |     |    |    |     | 兼 1 |   |
|                | 看護理論        | 1・2前                |     | 2  |    |   | 1        |     |    |    |     | 兼 1 |   |
|                | 看護教育学       | 1・2前                |     | 2  |    |   | 1        |     |    |    |     |     |   |
|                | 看護管理        | 1・2後                |     | 2  |    |   | 1        |     |    |    |     |     |   |
|                | 家族看護論       | 1・2前                |     | 1  |    |   |          |     |    |    |     | 兼 1 |   |
|                | 司法看護論       | 1・2前<br>未開講<br>1・2前 |     | 2  |    |   | 2        |     |    |    |     | 兼 5 |   |
|                | 保健・看護情報学    | 1・2前                |     | 2  |    |   | +        |     |    |    |     | 兼 1 |   |
|                | 保健福祉政策論     | 1・2後                |     | 2  |    |   |          |     |    |    |     | 兼 2 |   |
|                | 国際保健論       | 1・2後                |     | 2  |    |   |          |     |    |    |     | 兼 1 |   |
|                | コンサルテーション論  | 1・2後                |     | 2  |    |   |          |     |    |    |     | 兼 3 |   |
|                | ヘルスアセスメント   | 1・2後                |     | 2  |    |   |          |     |    | +  |     | 兼 2 |   |
| 臨床薬理学          | 1・2後        |                     | 2   |    |    |   |          |     |    |    | 兼 1 |     |   |
| 統計解析学          | 1前          |                     | 1   |    |    |   |          |     |    |    | 兼 1 |     |   |
| 看護実践学分野        | 看護実践学特講     | 1前                  |     | 2  |    |   | 3        | 1   |    |    |     |     |   |
|                | 看護実践学演習Ⅰ    | 1前                  |     | 2  |    |   | 2        |     |    |    |     |     |   |
|                | 看護実践学演習Ⅱ    | 1後                  |     | 2  |    |   | 2        | 1   |    |    |     |     |   |
|                | 看護実践学特別研究   | 2通                  |     | 8  |    |   | 3        | 1   |    |    |     |     |   |
| 看護学分野<br>女性健康  | 女性健康看護学特講   | 1前<br>未開講<br>1前     |     | 2  |    |   | 4        | 1   |    |    |     | 兼 2 | 通常開講 (25)<br>履修希望者がいなかったため(24)  |
|                | 女性健康看護学援助特講 | 1前<br>未開講<br>1前     |     | 2  |    |   | 4        | 1   |    |    |     | 兼 2 | 通常開講 (25)<br>履修希望者がいなかったため(24)  |
|                | 女性健康看護学演習   | 1後                  |     | 2  |    |   | 4        | 1   |    |    |     | 兼 3 |   |
|                | 女性健康看護学特別研究 | 2通                  |     | 8  |    |   | 3        | 1   |    |    |     |     |   |
| 看護学分野<br>がん看護学 | がん看護学特講     | 1前                  |     | 2  |    |   | 2        |     |    |    |     |     |   |
|                | がん病理看護学特講   | 1前                  |     | 2  |    |   | 2        |     |    |    |     | 兼 2 |   |
|                | がん疾病看護学特講   | 1後                  |     | 2  |    |   | 3        |     |    |    |     | 兼 4 |   |
|                | がん看護学援助特講   | 1前                  |     | 2  |    |   | 2        |     |    | 1  |     | 兼 1 |   |
|                | がん看護学演習Ⅰ    | 1後                  |     | 2  |    |   | 2        |     |    | 1  |     | 兼 1 |   |
|                | がん看護学演習Ⅱ    | 1後                  |     | 2  |    |   | 2        |     |    | 1  |     |     |   |
|                | がん看護学実習     | 2前                  |     | 6  |    |   | 2        |     |    | 1  |     |     |   |
|                | がん看護学課題研究   | 2通                  |     | 4  |    |   | 2        |     |    |    |     |     |   |
| がん看護学特別研究      | 2通          |                     | 8   |    |    | 2 |          |     |    |    |     |     |   |
| 看護学分野<br>老年看護学 | 老年看護学特講     | 1前                  |     | 2  |    |   | 2        |     |    |    |     | 兼 1 |   |
|                | 老年看護学援助特講   | 1前                  |     | 2  |    |   | 2        |     |    |    |     |     |   |
|                | 老年看護学演習Ⅰ    | 1後                  |     | 2  |    |   | 2        |     |    | 1  |     | 兼 5 |   |
|                | 老年看護学演習Ⅱ    | 1後                  |     | 2  |    |   | 2        |     |    | 1  |     | 兼 5 |   |
|                | 老年看護学実習Ⅰ    | 1通                  |     | 4  |    |   | 1        |     |    | 1  |     | 兼 1 |   |
|                | 老年看護学実習Ⅱ    | 2前                  |     | 4  |    |   | 1        |     |    | 1  |     | 兼 1 |   |
|                | 老年看護学課題研究   | 2通                  |     | 4  |    |   | 2        |     |    |    |     |     |   |
|                | 老年看護学特別研究   | 2通                  |     | 8  |    |   | 2        |     |    |    |     |     |   |

| 科目区分    | 授業科目の名称   | 配当年次      | 単位数 |    |    | 専任教員等の配置          |     |    |    |    | 備考 |     |                                |                       |
|---------|-----------|-----------|-----|----|----|-------------------|-----|----|----|----|----|-----|--------------------------------|-----------------------|
|         |           |           | 必修  | 選択 | 自由 | 教授                | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 |    |     |                                |                       |
| 地域看護学分野 | 地域看護学特講   | 1前        |     | 2  |    | 2<br><del>3</del> |     |    |    |    |    | 兼 2 | 担当予定者が教授就任を辞退し兼任講師として担当のため(25) |                       |
|         | 地域看護学援助特講 | 1前        |     | 2  |    | 3<br><del>4</del> |     |    |    |    |    | 兼 1 | 担当予定者が教授就任を辞退し兼任講師として担当のため(25) |                       |
|         | 地域看護学演習Ⅰ  | 未開講<br>1後 |     | 2  |    | 3                 |     |    |    |    |    | 兼 1 | 履修希望者がいなかったため(25)              |                       |
|         | 地域看護学演習Ⅱ  | 1後        |     | 2  |    | 2                 |     |    |    |    |    |     |                                |                       |
|         | 地域看護学実習   | 未開講<br>2前 |     | 6  |    | 2                 |     |    |    |    |    |     |                                | 履修希望者がいなかったため(25)     |
|         | 地域看護学課題研究 | 未開講<br>2通 |     | 4  |    | 4                 |     |    |    |    |    |     |                                | 履修希望者がいなかったため(25)     |
|         | 地域看護学特別研究 | 2通        |     | 8  |    | 3<br><del>4</del> |     |    |    |    |    |     |                                | 担当予定者が教授就任を辞退したため(25) |

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

| 設置時の計画  |          |         |          | 変更状況    |          |         |          | 備考 |
|---------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|----|
| 必修      | 選択       | 自由      | 計        | 必修      | 選択       | 自由      | 計        |    |
| 科目<br>2 | 科目<br>45 | 科目<br>0 | 科目<br>47 | 科目<br>2 | 科目<br>45 | 科目<br>0 | 科目<br>47 |    |
|         |          |         |          | [ 0 ]   | [ 0 ]    | [ 0 ]   | [ 0 ]    |    |

- (注)
- ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)



(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名  | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|--------|-----|------|-------|-------|-----------------|
| 1  | 「該当なし」 |     |      |       |       |                 |
| 2  |        |     |      |       |       |                 |
| 3  |        |     |      |       |       |                 |

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名  | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|--------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1  | 「該当なし」 |     |      |       |       |                |
| 2  |        |     |      |       |       |                |
| 3  |        |     |      |       |       |                |

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分                 |                      | 内 容                                |                                 |                                      |                    | 備考               |              |      |      |
|---------------------|----------------------|------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|--------------------|------------------|--------------|------|------|
| (1) 校 地 等           | 区 分                  | 専 用                                | 共 用                             | 共用する他の<br>学校等の専用                     | 計                  |                  |              |      |      |
|                     | 校舎敷地                 | 50,821㎡                            | 0㎡                              | 0㎡                                   | 50,821㎡            |                  |              |      |      |
|                     | 運動場用地                | 23,453㎡                            | 0㎡                              | 0㎡                                   | 23,453㎡            |                  |              |      |      |
|                     | 小 計                  | 74,274㎡                            | 0㎡                              | 0㎡                                   | 74,274㎡            |                  |              |      |      |
|                     | そ の 他                | 7,808㎡                             | 0㎡                              | 0㎡                                   | 7,808㎡             |                  |              |      |      |
|                     | 合 計                  | 82,082㎡                            | 0㎡                              | 0㎡                                   | 82,082㎡            |                  |              |      |      |
| (2) 校 舎             | 専 用                  | 共 用                                | 共用する他の<br>学校等の専用                | 計                                    |                    |                  |              |      |      |
|                     | 46,484㎡<br>(46,484㎡) | 0㎡<br>(0㎡)                         | 0㎡<br>(0㎡)                      | 46,484㎡<br>(46,484㎡)                 |                    |                  |              |      |      |
| (3) 教 室 等           | 講 義 室                | 演 習 室                              | 実験実習室                           | 情報処理学習施設                             | 語学学習施設             |                  |              |      |      |
|                     | 62 室                 | 14 室                               | 54 室                            | 6 室<br>(補助職員 2人)                     | 4 室<br>(補助職員 1人)   |                  |              |      |      |
| (4) 専任教員研究室         | 新設学部等の名称             |                                    |                                 | 室 数                                  |                    |                  |              |      |      |
|                     | 看護学研究科 看護学専攻         |                                    |                                 | 22 室                                 |                    |                  |              |      |      |
| (5) 図 書 ・ 設 備       | 新設学部等の<br>名称         | 図 書<br>〔うち外国書〕<br>冊                | 学術雑誌<br>〔うち外国書〕<br>種            | 電子ジャーナル<br>〔うち外国書〕                   | 視聴覚資料<br>点         | 機械・器具<br>点       | 標 本<br>点     |      |      |
|                     | 看護学研究科               | 15,888 [1,581]<br>(16,705 [1,693]) | 5,159 [992]<br>( 5,377 [1,079]) | 12,378 [11,536]<br>(22,585 [14,096]) | 8,259<br>8,318     | 3,230<br>(3,216) | 109<br>(124) |      |      |
|                     | 計                    | 15,888 [1,581]<br>(16,705 [1,693]) | 5,159 [992]<br>( 5,377 [1,079]) | 12,378 [11,536]<br>(22,585 [14,096]) | 8,259<br>8,318     | 3,230<br>(3,216) | 109<br>(124) |      |      |
|                     |                      |                                    |                                 |                                      |                    |                  |              |      |      |
| (6) 図 書 館           | 面 積                  |                                    | 閲 覧 座 席 数                       |                                      | 収 納 可 能 冊 数        |                  |              |      |      |
|                     | 6,177㎡               |                                    | 327席                            |                                      | 860,000冊           |                  |              |      |      |
| (7) 体 育 館           | 面 積                  |                                    | 体育館以外のスポーツ施設の概要                 |                                      |                    |                  |              |      |      |
|                     | 3,014㎡               |                                    | テニスコート6面 アーチェリー場                |                                      | 和弓場 ゴルフ練習場         |                  |              |      |      |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り               | 区 分                                | 開設年度                            | 完成年度                                 | 区 分                | 開設前年度            | 開設年度         | 完成年度 | (24) |
|                     |                      | 教員1人当り研究費等                         | 400千円                           | 400千円                                | 図書購入費              | 6,809千円          | 0千円          | 0千円  |      |
|                     | 共同研究費等               | 2,500千円                            | 2,500千円                         | 設備購入費                                | 1,247千円<br>1,221千円 | 729千円            | 0千円          |      |      |
|                     | 学生1人当り<br>納付金        | 第1年次                               | 第2年次                            | 第3年次                                 | 第4年次               | 第5年次             | 第6年次         |      |      |
|                     |                      | 900千円                              | 700千円                           | 一千円                                  | 千円                 | 千円               | 千円           |      |      |
| 学生納付金以外の維持方法の概要     |                      | 私立大学等経常費補助金、資産運用収入等                |                                 |                                      |                    |                  |              |      |      |

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

| 大学の名称                        | 甲南女子大学   |                  |               |                  |             |                       |                  | 備考                           |
|------------------------------|----------|------------------|---------------|------------------|-------------|-----------------------|------------------|------------------------------|
| 既設学部等の名称                     | 修業<br>年限 | 入<br>学<br>定<br>員 | 編入学<br>定<br>員 | 収<br>容<br>定<br>員 | 学位又<br>は称号  | 定<br>員<br>超<br>過<br>率 | 開<br>設<br>年<br>度 | 所<br>在<br>地                  |
|                              | 年        | 人                | 年次<br>人       | 人                |             | 倍                     |                  |                              |
| 大学院<br>看護学研究科<br>(修士課程)      |          |                  |               |                  |             | 1.50                  |                  | 兵庫県神戸市<br>東灘区森北町<br>6丁目2番23号 |
| 看護学専攻                        | 2        | 5                | —             | 10               | 修士(看護学)     | 1.50                  | 平成<br>24年度       |                              |
| 大学院<br>人文科学総合研究科<br>(博士前期課程) |          |                  |               |                  |             | 0.24                  |                  |                              |
| 言語・文学専攻                      | 2        | 9                | —             | 18               | 修士(文学)      | 0.16                  | 平成<br>17年度       |                              |
| 心理・教育学専攻                     | 2        | 13               | —             | 26               | 修士(人間科学)    | 0.41                  | 平成<br>17年度       |                              |
| 社会・文化環境学<br>専攻               | 2        | 9                | —             | 18               | 修士(人間科学)    | 0.05                  | 平成<br>17年度       |                              |
| (博士後期課程)                     |          |                  |               |                  |             | 0.29                  |                  |                              |
| 言語・文学専攻                      | 3        | 3                | —             | 9                | 博士(文学)      | 0.11                  | 平成<br>17年度       |                              |
| 心理・教育学専攻                     | 3        | 3                | —             | 9                | 博士(人間科学)    | 0.55                  | 平成<br>17年度       |                              |
| 社会・文化環境学<br>専攻               | 3        | 3                | —             | 9                | 博士(人間科学)    | 0.22                  | 平成<br>17年度       |                              |
| 文学部                          |          |                  |               |                  |             | 1.22                  |                  |                              |
| 日本語日本文化<br>学科                | 4        | 80               | —             | 320              | 学士(日本語日本文化) | 1.19                  | 昭和<br>39年度       |                              |
| 英語文化学科                       | 4        | 120              | —             | 480              | 学士(英語文化)    | 1.14                  | 昭和<br>39年度       |                              |
| 多文化コミュニ<br>ケーション学科           | 4        | 70               | —             | 280              | 学士(学術)      | 1.28                  | 平成<br>13年度       |                              |
| メディア表現学科                     | 4        | 60               | —             | 240              | 学士(メディア表現学) | 1.29                  | 平成<br>18年度       |                              |

|                   |   |     |   |     |           |      |        |
|-------------------|---|-----|---|-----|-----------|------|--------|
| 人間科学部             |   |     |   |     |           | 1.23 |        |
| 心理学科              | 4 | 90  | — | 360 | 学士(心理学)   | 1.25 | 平成13年度 |
| 総合子ども学科           | 4 | 120 | — | 480 | 学士(教育学)   | 1.16 | 平成18年度 |
| 文化社会学科            | 4 | 80  | — | 320 | 学士(社会学)   | 1.30 | 平成13年度 |
| 生活環境学科            | 4 | 80  | — | 320 | 学士(生活環境学) | 1.27 | 平成13年度 |
| 看護リハビリ<br>テーション学部 |   |     |   |     |           | 1.16 |        |
| 看護学科              | 4 | 90  | — | 360 | 学士(看護学)   | 1.14 | 平成19年度 |
| 理学療法学科            | 4 | 60  | — | 240 | 学士(理学療法学) | 1.19 | 平成19年度 |

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)について, それぞれの学校種ごとに, 平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際, AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<看護学研究科 看護学専攻>

### (1) 担当教員表

| 設置時の計画     |    |        |         |   | 変更状況       |    |        |        |         | 備考 |
|------------|----|--------|---------|---|------------|----|--------|--------|---------|----|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名   | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 |    |
| 専          | 教授 | 津村 智恵子 | 平成24年4月 | 司法看護論<br>地域看護学特講<br>地域看護学援助特講<br>地域看護学演習Ⅰ<br>地域看護学演習Ⅱ<br>地域看護学実習<br>地域看護学課題研究<br>地域看護学特別研究                |            |    |        |        |         |    |
| 専          | 教授 | 青山 ヒフミ | 平成25年4月 | 看護倫理<br>看護管理<br>看護実践学特講<br>看護実践学演習Ⅱ<br>看護実践学特別研究  |            |    |        |        |         |    |
| 兼任         | 講師 | 青山 ヒフミ | 平成24年4月 | 看護倫理<br>看護管理<br>看護実践学特講<br>看護実践学演習Ⅱ   |            |    |        |        |         |    |
| 専          | 教授 | 荒賀 直子  | 平成24年4月 | 地域看護学特講<br>地域看護学援助特講<br>地域看護学演習Ⅰ<br>地域看護学演習Ⅱ<br>地域看護学実習<br>地域看護学課題研究<br>地域看護学特別研究                         |            |    |        |        |         |    |
| 専          | 教授 | 池内 佳子  | 平成24年4月 | 女性健康看護学特講<br>女性健康看護学援助特講<br>女性健康看護学演習<br>女性健康看護学特別研究  |            |    |        |        |         |    |
| 専          | 教授 | 池川 清子  | 平成24年4月 | 看護研究方法論<br>看護倫理<br>看護理論<br>看護実践学特講<br>看護実践学演習Ⅰ<br>看護実践学演習Ⅱ<br>看護実践学特別研究                                   |            |    |        |        |         |    |
| 専          | 教授 | 臼井 キミカ | 平成24年4月 | 看護研究方法論<br>老年看護学特講<br>老年看護学援助特講<br>老年看護学演習Ⅰ<br>老年看護学演習Ⅱ<br>老年看護学実習Ⅰ<br>老年看護学実習Ⅱ<br>老年看護学課題研究<br>老年看護学特別研究 |            |    |        |        |         |    |

| 設置時の計画     |    |        |         |  | 変更状況       |    |        |        |         | 備考 |
|------------|----|--------|---------|--|------------|----|--------|--------|---------|----|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名  | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 |    |
| 専          | 教授 | 大西 和子  | 平成24年4月 | がん看護学特講<br>がん病理看護学特講<br>がん疾病看護学特講<br>がん看護学援助特講<br>がん看護学演習Ⅰ<br>がん看護学演習Ⅱ<br>がん看護学実習<br>がん看護学課題研究<br>がん看護学特別研究  |            |    |        |        |         |    |
| 専          | 教授 | 川口 優子  | 平成24年4月 | 地域看護学援助特講<br>地域看護学演習Ⅰ<br>地域看護学課題研究<br>地域看護学特別研究  |            |    |        |        |         |    |
| 専          | 教授 | 沢村 敏郎  | 平成24年4月 | がん疾病看護学特講  |            |    |        |        |         |    |
| 専          | 教授 | 白田 久美子 | 平成24年4月 | がん看護学特講<br>がん病理看護学特講<br>がん疾病看護学特講<br>がん看護学援助特講<br>がん看護学演習Ⅰ<br>がん看護学演習Ⅱ<br>がん看護学実習<br>がん看護学課題研究<br>がん看護学特別研究<br>女性健康看護学特講<br>女性健康看護学援助特講<br>女性健康看護学演習 |            |    |        |        |         |    |
| 専          | 教授 | 玉木 敦子  | 平成24年4月 | 女性健康看護学特講<br>女性健康看護学援助特講<br>女性健康看護学演習<br>女性健康看護学特別研究   |            |    |        |        |         |    |
| 専          | 教授 | 友田 尋子  | 平成24年4月 | 司法看護論<br>女性健康看護学特講<br>女性健康看護学援助特講<br>女性健康看護学演習<br>女性健康看護学特別研究  |            |    |        |        |         |    |
| 専          | 教授 | 前川 幸子  | 平成24年4月 | 看護教育学<br>看護実践学特講<br>看護実践学演習Ⅰ<br>看護実践学特別研究  |            |    |        |        |         |    |

| 設置時の計画     |     |        |         |  | 変更状況       |    |            |         |                        | 備考  |
|------------|-----|--------|---------|--|------------|----|------------|---------|------------------------|---|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名  | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢)     | 就任予定年月  | 担当授業科目名                |   |
| 専          | 教授  | 真嶋 由貴恵 | 平成25年4月 | 保健・看護情報学   |            |    | 後任未定       |         |                        | 平成24年7月真嶋由貴恵教授就任辞退(25)<br>「後任未定」平成24年7月から専任教員採用予定で公募したが適任者が得られていない。<br>「保健・看護情報学」は、本人が兼任講師として担当するため支障はない。 |
|            |     |        |         | 地域看護学特講  | 兼任         | 講師 | 真嶋 由貴恵(50) | 平成25年4月 | 保健・看護情報学               | 専任教員就任を辞退し、兼任講師として就任(25)  |
|            |     |        |         | 地域看護学援助特講  | 専          | 教授 | 津村 智恵子(71) | 平成25年4月 | 地域看護学特講                | 真嶋由貴恵教授の就任辞退のため平成25年4月より担当者を変更。なお地域看護学分野においては、開校初年度より2人(津村、荒賀)の地域看護学専任教員が授業に携わっていたため担当者変更による支障はない。(25)    |
|            |     |        |         | 地域看護学課題研究<br>地域看護学特別研究   |            |    |            | 平成25年4月 | 地域看護学課題研究<br>地域看護学特別研究 | 真嶋由貴恵教授を研究指導教員とする履修者対象科目のため、平成25年5月1日現在未開講(25)  |
| 兼任         | 講師  | 真嶋 由貴恵 | 平成24年4月 | 保健・看護情報学<br>地域看護学特講<br>地域看護学援助特講                                       |            |    |            |         |                        |   |
| 専          | 教授  | 水谷 信子  | 平成24年4月 | 老年看護学特講<br>老年看護学援助特講<br>老年看護学演習Ⅰ<br>老年看護学演習Ⅱ<br>老年看護学課題研究<br>老年看護学特別研究 |            |    |            |         |                        |   |
| 専          | 准教授 | 吾妻 知美  | 平成24年4月 | 看護実践学特講<br>看護実践学演習Ⅱ<br>看護実践学特別研究                                       |            |    |            |         |                        |   |
| 専          | 准教授 | 川村 千恵子 | 平成24年4月 | 女性健康看護学特講<br>女性健康看護学援助特講<br>女性健康看護学演習<br>女性健康看護学特別研究                   |            |    |            |         |                        |   |
| 専          | 講師  | 江口 秀子  | 平成24年4月 | ヘルスアセスメント  | 兼任         | 講師 | 江口 秀子(55)  | 平成25年4月 | ヘルスアセスメント              | 平成25年3月に専任講師を辞任し、4月に兼任講師として就任(25)   |
| 専          | 講師  | 兼田 美代  | 平成24年4月 | 老年看護学演習Ⅰ<br>老年看護学演習Ⅱ<br>老年看護学実習Ⅰ<br>老年看護学実習Ⅱ                           |            |    |            |         |                        |   |
| 専          | 講師  | 田中 登美  | 平成24年4月 | がん看護学援助特講<br>がん看護学演習Ⅰ<br>がん看護学演習Ⅱ<br>がん看護学実習                           |            |    |            |         |                        |   |
| 兼任         | 教授  | 稲垣 由子  | 平成24年4月 | 司法看護論  |            |    |            |         |                        |   |
| 兼任         | 教授  | 辻下 守弘  | 平成24年4月 | 老年看護学演習Ⅰ   |            |    |            |         |                        |   |
| 兼任         | 教授  | 細辻 恵子  | 平成24年4月 | 女性健康看護学特講  |            |    |            |         |                        |   |

| 設置時の計画     |    |        |         |  | 変更状況       |    |                |         |             | 備考                              |
|------------|----|--------|---------|--|------------|----|----------------|---------|-------------|---------------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名  | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢)         | 就任予定年月  | 担当授業科目名     |                                 |
| 兼任         | 教授 | 松浦 尊磨  | 平成24年4月 | 保健福祉政策論<br>老年看護学特講                             |            |    |                |         |             |                                 |
| 兼任         | 講師 | 生野 照子  | 平成24年4月 | 女性健康看護学援助特講                                    | 兼任         | 講師 | 木村 記子<br>(38)  | 平成25年4月 | 女性健康看護学援助特講 | 生野照子兼任講師辞退のため担当者変更 (25)         |
| 兼任         | 講師 | 池内 正憲  | 平成24年4月 | がん疾病看護学特講                                      |            |    |                |         |             |                                 |
| 兼任         | 講師 | 市来 百合子 | 平成24年4月 | 女性健康看護学演習                                      |            |    |                |         |             |                                 |
| 兼任         | 講師 | 伊藤 亨   | 平成24年4月 | がん疾病看護学特講                                      | 兼任         | 講師 | 小久保 雅樹<br>(53) | 平成24年9月 | がん疾病看護学特講   | 伊藤亨兼任講師辞退のため担当者変更 (25)          |
| 兼任         | 講師 | 入江 安子  | 平成24年4月 | 家族看護論  |            |    |                |         |             |                                 |
| 兼任         | 講師 | 加藤 治子  | 平成24年4月 | 司法看護論<br>女性健康看護学特講<br>女性健康看護学援助特講<br>女性健康看護学演習 |            |    |                |         |             |                                 |
| 兼任         | 講師 | 川井 太加子 | 平成24年4月 | 保健福祉政策論  |            |    |                |         |             |                                 |
| 兼任         | 講師 | 川端 健二  | 平成24年4月 | がん病理看護学特講                                      |            |    |                |         |             |                                 |
| 兼任         | 講師 | 菊池 誠   | 平成24年4月 | 統計解析学  |            |    |                |         |             |                                 |
| 兼任         | 講師 | 紀平 知樹  | 平成24年4月 | 実践哲学<br>看護倫理                                   |            |    |                |         |             |                                 |
| 兼任         | 講師 | 倉持 裕子  | 平成24年4月 | 司法看護論<br>コンサルテーション論                            | 兼任         | 講師 | 加納 尚美<br>(54)  | 平成25年4月 | 司法看護論       | 倉持裕子兼任講師が当該科目の担当辞退のため担当者変更 (25) |
| 兼任         | 講師 | 高 起良   | 平成24年4月 | がん疾病看護学特講                                      |            |    |                |         |             |                                 |
| 兼任         | 講師 | 郷良 淳子  | 平成24年4月 | 看護研究方法論  |            |    |                |         |             |                                 |
| 兼任         | 講師 | 佐瀬 美恵子 | 平成24年4月 | 老年看護学演習Ⅰ<br>老年看護学演習Ⅱ<br>老年看護学実習Ⅰ<br>老年看護学実習Ⅱ   |            |    |                |         |             |                                 |



| 設置時の計画     |    |                   |         |                      | 変更状況       |    |               |         |            | 備考                           |
|------------|----|-------------------|---------|----------------------|------------|----|---------------|---------|------------|------------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢)            | 就任予定年月  | 担当授業科目名              | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢)        | 就任予定年月  | 担当授業科目名    |                              |
| 兼任         | 講師 | 鈴木 けい子            | 平成24年4月 | 女性健康看護学演習            |            |    |               |         |            |                              |
| 兼任         | 講師 | 寶田 穂              | 平成24年4月 | コンサルテーション論           |            |    |               |         |            |                              |
|            |    |                   |         |                      | 兼任         | 講師 | 鷹野 朋実<br>(49) | 平成25年1月 | コンサルテーション論 | 当該科目内容の実践部分強化を図るため担当者を追加(25) |
| 兼任         | 講師 | 立山 恭子             | 平成24年4月 | 国際保健論                |            |    |               |         |            |                              |
| 兼任         | 講師 | 田中 結華             | 平成24年4月 | 看護研究方法論              |            |    |               |         |            |                              |
| 兼任         | 講師 | 谷 聡               | 平成24年4月 | がん疾病看護学特講            |            |    |               |         |            |                              |
| 兼任         | 講師 | 谷向 仁              | 平成24年4月 | 老年看護学演習Ⅱ             |            |    |               |         |            |                              |
| 兼任         | 講師 | 筒井 真優美            | 平成24年4月 | 看護理論                 |            |    |               |         |            |                              |
| 兼任         | 講師 | 鶴田 理恵             | 平成24年4月 | がん看護学演習Ⅰ             |            |    |               |         |            |                              |
| 兼任         | 講師 | 長江 美代子            | 平成24年4月 | 司法看護論                | 兼任         | 講師 | 日下 修一<br>(55) | 平成25年4月 | 司法看護論      | 長江美代子兼任講師辞退のため担当者変更(25)      |
| 兼任         | 講師 | 西村 ユミ             | 平成24年4月 | 看護研究方法論              |            |    |               |         |            |                              |
| 兼任         | 講師 | 西山 みどり            | 平成24年4月 | 老年看護学演習Ⅰ<br>老年看護学演習Ⅱ |            |    |               |         |            |                              |
| 兼任         | 講師 | 二宮 佐和子            | 平成24年4月 | 老年看護学演習Ⅰ<br>老年看護学演習Ⅱ |            |    |               |         |            |                              |
| 兼任         | 講師 | 橋田 亨              | 平成24年4月 | 臨床薬理学                |            |    |               |         |            |                              |
| 兼任         | 講師 | 長谷川 京子<br>(内橋 京子) | 平成24年4月 | 司法看護論                |            |    |               |         |            |                              |
| 兼任         | 講師 | 藤本 美生             | 平成24年4月 | がん看護学援助特講            |            |    |               |         |            |                              |

| 設置時の計画     |    |        |         |                      | 変更状況       |    |        |        |         | 備考 |
|------------|----|--------|---------|----------------------|------------|----|--------|--------|---------|----|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名              | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 |    |
| 兼任         | 講師 | 村尾 眞一  | 平成24年4月 | がん病理看護学特講            |            |    |        |        |         |    |
| 兼任         | 講師 | 森川 英子  | 平成24年4月 | 地域看護学特講<br>地域看護学演習Ⅰ  |            |    |        |        |         |    |
| 兼任         | 講師 | 森山 祐美  | 平成24年4月 | 老年看護学演習Ⅰ<br>老年看護学演習Ⅱ |            |    |        |        |         |    |
| 兼任         | 講師 | 山内 豊明  | 平成24年4月 | ヘルスアセスメント            |            |    |        |        |         |    |

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

## (2) 専任教員数

| 設置時の計画 |          |        | 変更状況   |          |        | 年齢構成    |              |
|--------|----------|--------|--------|----------|--------|---------|--------------|
| 研究指導教員 | 研究指導補助教員 | 計      | 研究指導教員 | 研究指導補助教員 | 計      | 教員の定年年齢 | 定年を延長している教員数 |
| 16     | 0        | 16     | 15     | 0        | 15     |         |              |
| ( 14 ) | ( 0 )    | ( 14 ) | [ Δ1 ] | [ 0 ]    | [ Δ1 ] | 65歳     | 8名           |

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 辞任（就任辞退を含む）等の理由  |
|----|----|--------|--|
| 1  | 教授 | 真嶋 由貴恵 | 2016年に大阪の公立大学2大学が統合するため、所属する研究科も再編され、新規立ち上げの医療情報工学システム領域の責任者に本人が指名され、研究や教育課程作成の準備、統合会議に追われ多忙な状況にあることから、本人より就任辞退の申し出があった。 |
| 2  | 講師 | 江口 秀子  | 実父の要介護度が重くなり、在宅看護支援が必要となったため、本人より退職の申し出があった。   |
| 3  |    |        |  |

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

|  |
|--|
| <p>真嶋由貴恵教授<br/>「大学の所見」<br/>地域看護学分野においては、本人の他に2人の地域看護学専任教授が看護学研究科の本分野の授業に携わっている。本人担当予定であった専門科目2科目6コマ（3コマは共同授業）は十分に学内の2人の地域看護学専任教授でカバーできる範囲の内容と時間であるため、本学の地域看護学分野の授業への影響はない。また、開設初年度より本人担当の共通科目「保健・看護情報学」は、非常勤講師として本人が継続担当するため、支障はない。</p> <p>「学生への周知方法」<br/>・入学生に対しては、平成25年4月1日入学式当日のオリエンテーションの履修説明の際、本人の専任教授辞任の説明を行った。また、2年次生には4月3日オリエンテーションで同様の内容を説明。<br/>・平成26年度看護学研究科受験生用パンフレット及び、大学院受験生用ホームページから本人の名前を削除する。</p> <p>江口秀子講師<br/>「大学の所見」<br/>本人担当予定であった「ヘルスアセスメント」は、本人が兼任講師として就任するため、支障はない。</p> <p>「学生への周知方法」<br/>入学生に対しては、平成25年4月1日入学式当日のオリエンテーションの履修説明の際、本人の専任講師辞任の説明を行った。また、2年次生には4月3日オリエンテーションで同様の内容を説明。</p> |
|--|

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

| 区 分                           | 留 意 事 項   | 履 行 状 況  | 未履行事項について<br>の実施計画 |
|-------------------------------|---|--|--------------------|
| 設 置 時<br>(平成23年10月)           | (その他大学全般に関する事項)<br>1. 文学部日本語日本文化学科及びメディア表現学科の入学定員超過の是正に努めること。 | 日本語日本文化学科の平成24年度入学者の入学定員超過率は、1.15倍であり、平均入学定員超過率は、1.29倍となった。<br>また、メディア表現学科の平成24年度入学者の入学定員超過率は、1.05倍であり、平均入学定員超過率は、1.26倍となった。<br>(24) | 該当なし(24)           |
|                               |   | 日本語日本文化学科の平成25年度入学者の入学定員超過率は、1.26倍であり、平均入学定員超過率は、1.19倍となった。<br>また、メディア表現学科の平成25年度入学者の入学定員超過率は、1.26倍であり、平均入学定員超過率は、1.29倍となった。<br>(25) | 該当なし(25)           |
| 設置計画履行状況<br>調 査 時<br>(△△年△△月) |   |  |                    |
| 設置計画履行状況<br>調 査 時<br>(□□年□□月) |   |  |                    |
| 設置計画履行状況<br>調 査 時<br>(●●年●●月) |   |  |                    |
|                               |   |  |                    |

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <看護学研究科 看護学専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|--------|------------------|
|        | 「該当なし」           |

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

|   |
|---|
| <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>【組織構成】</p> <p>平成24年度4月より本学研究科開設後、FD委員会は設置された。FD委員は、看護学研究科委員会において任命された2名の教員（教授2名）である。本学では、大学院にかかわる教員は、学部教育を担当している教員でもあることから、学部における教員の資質向上の維持に向けた取り組みとしてのFD活動と連携をしながら、FD活動の運営を実施している。</p> <p>（転載：甲南女子大学全学FD委員会規程）</p> <p>○甲南女子大学全学FD委員会規程 <span style="float: right;">平成24年2月8日</span></p> <p>（目的）</p> <p>第1条 甲南女子大学に、建学の精神と教学の理念を踏まえ、学部学科の教育目的を達成し、教育学習効果を最大限に高めるための取組みを行うために、甲南女子大学全学FD委員会（以下、「委員会」という。）を設置する。</p> <p>（審議事項）</p> <p>第2条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の事項を審議決定する。</p> <p>(1) 全学的な教育改善のための施策に関する事項</p> <p>(2) 教員の職能開発に関する事項</p> <p>(3) ワーキング・グループに関する事項</p> <p>(4) その他委員会が必要と認めた事項</p> <p>（構成）</p> <p>第3条 委員会は、次の者をもって構成する。</p> <p>(1) 学長</p> <p>(2) 各学部長</p> <p>(3) その他学長が指名する者</p> <p>（委員長）</p> <p>第4条 委員会に、委員長を置く。</p> <p>2 委員長は、学長が指名する。</p> <p>3 委員長は、委員会を代表し、その業務を統括する。</p> <p>（副委員長）</p> <p>第5条 委員会に、必要に応じて副委員長を置くことができる。</p> <p>2 副委員長は、学長が指名する。</p> <p>3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、これを代行する。</p> <p>（任期）</p> <p>第6条 第3条第3号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>2 前項の委員に欠員が生じ、補充した場合の任期は、前任者の残任期間とする。</p> |
|---|

(部会)

第7条 委員会の任務を遂行するために、各学科に共通する重要事項を協議し、また連絡調整を図ることを目的に、委員会のもとに、学科FD部会(以下、「部会」という。)を置く。

2 部会の委員は、各学科から選出された教員(各1名)とする。

3 前項の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

4 第3項の委員に欠員が生じ、補充した場合の任期は、前任者の残任期間とする。

5 部会に部会長を置き、委員会の委員長がこれにあたる。

(ワーキング・グループ)

第8条 委員会の任務を遂行するために、企画立案及び調査研究を行うことを目的に、委員会のもとに、ワーキング・グループを置く。

2 ワーキング・グループの組織及び運営等については、別に定める。

(所管)

第9条 この規程に関する事務は、学術研究支援室の所管とする。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、各学部教授会の議を経て大学評議会の議決による。

附 則

1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

2 甲南女子大学FD・SD委員会規程(平成13年7月25日制定)は、廃止する。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)及び c 委員会の審議事項等

《FD委員会会議》

【第1回FD会議】

平成24年5月10日(木)

①平成24年度のFD委員会の目的・目標について

②平成24年度のFD委員会スケジュールについて

【第2回FD会議】

平成24年5月18日(金)

①6月学科会議での説明内容について

②看護学科FD研修会(終日研修)について

【第3回FD会議】

平成24年6月8日(金)

①全学FD、学部FD、学科FDの役割について

②平成24年度的全学FDの流れ(全学中期計画アクションプラン)について

③学科として目指すこと

【第4回FD会議】

平成24年6月28日(木)

①各学科FDの目的・目標の共有について

②理学療法学科カリキュラムマップについて

③学部FD研修会について

【第5回FD会議】

平成24年7月4日(水)

①平成24年度 学部・看護学科・看護学研究科FDスケジュールについて

②第1回看護学科FD研修会について

【第6回FD会議】

平成24年7月11日(水)

①第1回看護学科FD研修会について

②予算の執行について

【第7回FD会議】

平成24年7月18日(水)

①第1回看護学科FD研修会について

②第2回看護学科FD研修会に向けて

【メール会議】

平成24年7月26日(木)

①第2回看護学科FD研修会について

【第8回FD会議】

平成24年8月20日(月)

①第2回看護学科FD研修会について

【第9回FD会議】

平成24年9月26日(水)

①2回の終日研修の評価

②カリキュラムマップについて

③学部FDの企画について

【第10回FD会議】

平成24年10月24日（水）

①学部FD研修会開催に向けての事前準備の件

【第11回FD会議】

平成24年12月7日（金）

①平成24年度 第1回看護リハビリテーション学部FD研修会の評価

②カリキュラムマップ：学部の評価についての検討

③学生要覧の見直しについて

【メール会議】

平成25年2月7日（木）

①看護学科教授：山本和正先生講義について

② 実施状況

a 実施内容 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

【第1回FD研修会】

平成24年7月28日（土）10：00～16：00

場所：1号館大会議室

テーマ：「私たちが目指す看護学教育」

方法：ワークショップ（終日研修）

参加率：85%

【第2回FD研修会】

平成24年8月3日（金）

場所：1号館大会議室

テーマ：「アメリカにおけるナース・プラクティショナーの教育と実践」

（米国より看護専門職者（NP）を招聘し、米国の看護専門職者教育の実際を学ぶ）

講師：神埼桂子先生（ミレニア・ウンド・マネージメント株式会社）

方法：講義

【第3回FD研修会】

平成24年8月25日（土）

9：30～16：15

場所：1号館大会議室

テーマ：「私たちが目指す卒業時の実践能力」

—臨地実習の目標と成果を踏まえ、卒業時の実践能力をどのように捉え、どのように育てていきたいか—

方法：プレゼンテーション・ワークショップ（終日研修）

参加率：83%

【第4回FD研修会】

平成24年10月29日（月）

9：00～14：30

場所：1号館132教室

テーマ：「学生の知的関心を高める教授方法とは①」

講師：山内豊明 教授

所属：名古屋大学大学院 医学系研究科 臨床アセスメント学分野

方法：公開授業＋討論会

参加率：75%

【第5回FD研修会】

平成24年11月5日（月）

9：00～16：10

場所：1号館130教室 学部

テーマ：「学生の知的関心を高める教授方法とは②」

講師：山内豊明 教授

所属：名古屋大学大学院 医学系研究科 臨床アセスメント学分野

方法：公開授業＋討論会

参加率：70%

【第6回FD研修会】

平成24年11月9日（金）

9：00～14：30

場所：1号館130教室

テーマ：「学生の知的関心を高める教授方法とは③」

講師：山内豊明 教授

所属：名古屋大学大学院 医学系研究科 臨床アセスメント学分野

方法：公開授業＋討論会

参加率：75%

【第7回FD研修会】

平成25年3月13日（水）  
16:30～18:00  
場所：1号館大会議室 学部  
テーマ：「教育と研究」  
講師：山本和正 教授  
甲南女子大学看護リハビリテーション学部看護学科  
方法：講義  
参加率：75%

【第8回FD研修会】

平成25年3月26日（火）  
10:00～15:00  
場所：1号館大会議室  
テーマ：「本学科における教育評価結果に基づく検討会、課題と改善点」  
方法：グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション  
参加率：80%

【第9回FD研修会】

平成25年3月28日（木）  
15:00～17:00  
場所：1号館大会議室  
テーマ：「発達障害のある学生に対する指導方法」  
講師：玉木敦子 教授  
甲南女子大学看護リハビリテーション学部看護学科  
方法：講義、ディスカッション  
参加率：68%

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

【学部FD研修会の評価】

(1) 参加人数

7割以上の参加率であったが、「授業のない平日を希望する」などという意見もあったことから、より多くの教員が参加できるようにするために、授業のない期間の平日で日程調整することも検討していく。

(2) FD研修についての評価

「テーマ設定」に関しては、9割以上の方が「良い～まあまあ良い」と回答しており、研修会によって、これまでの授業や教育について振り返り、評価する機会となった、と9割以上の教員が回答をしていた。  
また、研修会の意義についてこれからの看護教育を考える上で役立った、と9割以上の教員が回答をしていた。  
以上から、FD研修会のテーマをとおして、改めて私たち教員一人一人が、「看護における教育と研究」を再考する機会となり、またそれを学科全体で共有できた。  
領域や専攻という枠組みを越えて、看護学教育および研究について考える機会を持ったことで、「教育内容の連携を踏まえ、その積み上げ方に関する可視化をめざす」という今回のFDのねらいは達成できたと言える。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期 及び b 教員や学生への公開状況、方法等

① 授業評価の目的

② 授業評価用紙（共通科目、専門科目、学生生活など）の作成

③ 授業評価の方法の決定

④ 評価結果の共有方法

以上について確認後、平成25年3月末、学生にアンケート実施に関する説明を行い、4月1日から4月12日に実施し、4月15日に回収した。

調査結果は、4月17日開催の研究科委員会において、教育改善のため活用する資料として教員に配布した。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）



### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

具体的根拠を踏まえ、評価・所見に関わる事項を次に時系列的に挙げる。

- ・本大学のホームページ「大学院、入試情報」に、本研究科の教育理念、教育目的・教育目標、アドミッションポリシーなどを掲載している。
- ・本研究科の「学生募集要項」1頁の冒頭に、①本学の大学院が求める学生、②看護学研究科が受け入れる学生像、③看護学研究科のアドミッションポリシーを掲載しており、受験前論文担当教員面接時に受験生に①、②、③を担当教員が説明し、確認をしている。
- ・入学時（4月1日）に研究科委員長より「大学院学生要覧」の記載内容を踏まえて、本研究科の教育理念、教育目的・教育目標、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーについて入学生に説明している。
- ・教務担当教員及び論文担当教員等による履修申請指導（4月3日）を入学生に行っている。履修登録締め切り日（4月11日）後の調査で、入学生7名中CNS科目選択者が1名（がん看護分野）であったことを確認。
- ・入学生の主体的な学習姿勢を築くために、図書館利用及びPCを用いた文献検索手順オリエンテーションを入学早々（4月3日）に行っている。

以上の状況から、設置の主旨・目的に合致した学生が入学してきており、学生達の意欲的かつ、主体的に学習している様子が窺える。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### 《組織構成》

平成24年度4月（本研究科開設直後）に開催された第1回看護学研究科委員会（2012/4/2）において、「自己点検・自己評価委員会」が発足し、委員会の構成員は、平成25年度も本研究科委員会で任命された教員2名である。

##### 《自己点検・評価における目的》

教育・研究・地域貢献及び運営管理における質の向上を図ることを目的とし、研究科開設と同時に自己点検・自己評価を実施し公表を行なう。

- 1) 本研究科における教育、研究、地域貢献及び研究科運営に関する活動を2年毎に評価し、後年度に向けての課題及び改善点を見出す。
- 2) 教育・研究者及び高度な看護実践職者の教育の重点化を図るための基礎的資料とする。
- 3) 評価結果を冊子としてまとめ、関連する実習施設及び教育機関へ配付することで本研究科の教育内容を周知する。

##### 《実施方法・評価基準・評価項目》

評価対象期間及び対象項目は、2年間にわたる「教育・研究・地域貢献・研究科運営」とし、これらに関する各種委員会資料及び分野単位の資料を参考に、現状、評価、課題についてまとめる。

評価基準は、日本高等教育評価機構及び文部科学省大学評価研究委託（日本看護系大学協議会における学士課程評価基準）を参考に、当該委員会が中心となって継続的に検討していく。また、自己点検・自己評価が独善的になることを回避し、評価の透明性・信頼性を確保するために、外部評価の方法についても併せて検討している。

##### 《評価項目》

- 1) 大学院研究科の理念、目的、目標
- 2) 研究科組織、事務組織
- 3) 管理・運営、財政内容
- 4) 学生の受け入れ状況・体制
- 5) 教育課程と教育内容・方法
- 6) 教育施設、設備の充実化
- 7) 学習者の特徴を踏まえた支援体制
- 8) 学位授与に関する認定体制
- 9) 教員の教育研究活動
- 10) FD/S D活動
- 11) 社会・地域貢献
- 12) 自己点検・自己評価

a 公表（予定）時期

- ・平成26年6月公表予定

b 公表方法

- i) 刊行物による情報提供・発信（2年毎の発行）：「自己点検・自己評価報告書」を刊行し、関連する実習施設（約80箇所）及び高等教育機関（約200冊）への配付を行う。大学内においては、各学部への配布、希望する学生に対して配布を行う。  
また、非常勤講師、外来者が閲覧できるように、本学部非常勤講師控室に開学当初からの「自己点検・自己評価報告書」の冊子を設置しておく。
- ii) 大学ホームページによる情報の公開を予定している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成27年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、既に学内で検討を開始している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ 無 )
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成24年5月31日 )